

# 平成17年度 各会計別決算状況

●一般会計については、290億4,949万6,000円の予算に対して、歳入が293億757万円余、歳出は284億5,426万円余となり、歳入歳出差引残額8億5,330万円余となりました。決算額の執行率は予算対比で、歳入が100.9%、歳出は98.0%でした。

会計名		予算額 (千円)	歳入決算額 (円)	執行率 (%)	歳出決算額 (円)	執行率 (%)
一般会計		29,049,496	29,307,575,680	100.9	28,454,269,092	98.0
特別会計	土地取得	430,000	159,556,070	37.1	157,497,704	36.6
	国民健康保険	6,229,000	6,362,647,285	102.1	6,161,413,721	98.9
	老人保健	5,936,000	5,838,540,994	98.4	5,886,433,976	99.2
	介護保険	3,682,000	3,661,778,417	99.5	3,610,862,822	98.1
	簡易水道事業	514,000	513,925,994	100.0	491,654,927	95.7
	公共下水道事業	2,997,000	2,999,486,667	100.1	2,916,666,492	97.3
	農業集落排水事業	21,000	21,223,306	101.1	20,075,168	95.6
	駐車場事業	91,000	95,565,926	105.0	81,261,703	89.3
	訪問看護事業	33,000	32,960,093	99.9	29,867,646	90.5
	計	19,933,000	19,685,684,752	98.8	19,355,734,159	97.1

※ 老人保健特別会計の歳入が歳出に不足する額は、翌年度歳入繰上充用金で補てんしました。

会計名			予算額 (千円)	決算額 (円)	執行率 (%)
企業会計	水道事業	事業収益	1,407,000	1,419,630,705	100.9
		事業費用	1,407,000	1,343,647,712	95.5
		資本的収入	147,000	145,998,749	99.3
		資本的支出	788,000	587,771,297	74.6
	病院事業	事業収益	7,782,000	7,561,659,786	97.2
		事業費用	7,782,000	7,596,501,018	97.6
		資本的収入	14,977	14,976,000	100.0
		資本的支出	821,775	745,822,425	90.8

※ 水道事業会計・病院事業会計とも、資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました。

## 討 論

(会派より)

一般会計決算認定に対して

「日本共産党」

反対する

合併初年度は、「サービスは高く、負担は低く」の原則が守られることが最低必要であった。しかし、自治会運営交付金などで旧浅羽町の方にサービスが後退し、負担が増えた。健康づくり推進費では多額の不用額を残した。事業が実施できなかったわけではないが、早い段階で不用額の発生が決まっていたのだから、減額補正を行い、他の健康づくり事業にふりむけるべきであった。源泉所得税延滞納付金と独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付金に関する問題は、基本的な事務をきちんと行い、チェックをすることができなかった組織の重大な問題である。原因究明と処分を含む反省、市民・議会への公表、再発防止への取り組みなどいづれも不十分である。

「自由21」

賛成する

本決算では、財政の豊かさを示す財政力指数が0.92と、県下市町村の平均0.76と比較し、高い数値となっている。減債基金などの積立や金利の高い地方債の繰上償還など、将来に繋がる健全な財政運営は賢明と認める。自治会交付金は、自治連合会合併準備委員会でバランスを考慮して検討されたもので、適切と判断する。また、道路新設改良事業や道路舗装事業への旧浅羽町の自治会費用負担5%がなくなるなど軽減されたものもある。また、各種健康診査の充実や食育推進事業、子育て支援事業、地震対策事業、治水対策事業など、各種事業が着実に遂行されており、市民の安全・安心のためのきめ細かな対策がうかがえ、高く評価する。源泉所得税の納付遅延などの事務処理のミスについては、市長が先頭に立ち、全職員が一丸となって再発防止と明確な職場づくりに取り組まれた。今後も市民のために堅実な財政運営が行われることを願う。